



プレスリリース

長野県東御市

報道機関各位

令和 8 年 4 月 17 日

件名

東御市教育委員会指導主事 宮下聡氏 第 103 回春陽展にて「春陽会賞」を受賞 授賞式開催について

長野県東御市は、本市教育委員会指導主事であり美術作家として活動する宮下聡氏が、第 103 回春陽展における最高位賞「春陽会賞」を受賞したことをお知らせいたします。

春陽展は、洋画分野における我が国有数の公募展であり、春陽会は大正期に創立されて以来、日本の近代美術史において重要な役割を担ってきた美術団体です。特に長野県上田・小県地域は、創立メンバーである山本鼎や倉田白羊らの活動地盤である地域という背景から、春陽会との関係が深い地域として知られています。宮下氏はこれまで学校教員の傍ら、春陽会を舞台に継続的に作品発表を行い、地域に根ざした美術活動と教育実践の両面で行ってきました。このたびの受賞は、その長年の活動と作品の質が高く評価されたものです。受賞作品は、現在、国立新美術館(東京都港区)で開催中の第 103 回春陽展にて展示されているほか、今後、名古屋展および大阪展へ巡回予定です。また、授賞式は令和 8 年 4 月 18 日(土)、国立新美術館 3 階講堂にて執り行われます。

なお、春陽会および上田・小県地域の美術史については、2024 年に上田市立美術館および東御市梅野記念絵画館において共同開催された展覧会「上田クロニクルー上田・小県洋画史 100 年の系譜」において体系的に紹介されており、本受賞はその歴史の延長線上に位置付けられるものです。

東御市では、宮下氏の活動をはじめとする地域の文化資源を活かし、美術を通じた人材育成および地域文化の振興に引き続き取り組んでまいります。

本件に関する 問い合わせ先	部署	文化・スポーツ振興課 文化振興係		担当者	日向
	電話番号	71-0670	メール	bunka@city.tomi.nagano.jp	